

大豊村議会議員任期終る

当日は、海外移住者渡航前融資に対する連帯保証について、◇大豊村国民健康保険実施に伴う医師の一時資金借入に対する村の保証及び利子補給について（二）、◇昭和三十三年度大豊村歳入歳出追加更正予算決定について（一）、◇三七、〇〇〇（円）以上の三議案を午後四時頃迄審議、それぞれ原案通り可決した後、閉会式に移った。

先づ小笠議員より三谷村長他執行部に対して、四九年にわたる困難な新村建設遂行の爲の尽力に謝意が述べられ、ついで村長より議員に対して挨拶演説があり、三谷盛清議員が議長に対して挨拶があつたのち、全員が一斉に「吾々が代表」「蜚の光」を斉唱し、四九年にわたつた新村初代議員の功績を讃め、議席に、わかれを告げた。

四月一日より実施

第三十六回大豊村議定会
 会は三月十二日に開会、
 七日、十三日、十六日、
 十七日、十八日、十九日、
 二十日の七日間にわたって
 提出された二十議案に対
 重審議し、それと原

かねて懸案であつた大豊
 村国民健康保険は、その諸
 準備が完了、体制が整つた
 より説明資料が近いうちに
 なされる。
 尚詳細については厚生課

大豊村国民健康保険
 四月一日より実施

ので四月一日より実施する。配布される予定である。

その事務は別に課制を設けず、厚生課の中に國民健康保險係（専従職員八名）を設置し、保險税の賦課は稅務課に於て取扱われる。保險税の稅率は次の通り

- (一) 所得割百分の二十四
- (二) 資産割百分の十
- (三) 被保險者均等割一人につき二百十三圓

久寿軒小学校
五百萬円で改築決定
久寿軒小学校は明治四十五年に建築されたものであるが、最近腐朽度が甚しく、そのまゝに放置することとは危険となつて來たので、現校地内へ木造二階建スレート葺一棟一七八坪のものを工費五百萬円で改築する

(四)世帯別均等割一世帯につき四百三十円。
納期は五月、九月、十一月と四期につけて行
工事方法は指名競争入札により行なわれ、三十四年度中に完成する。

定し
た。
以下は
可決
され
た主
要議
案の
内容
であ
る。

これは敬老年金の支給を行うことによつて長寿を祝福し、村民の敬老思想の高揚を図り、高令者の福祉の増進に寄与することを目的として定められたものであると三月十五日に、それ／＼この年金の受給資格は村内に一年以上引続き住所を有する者で毎年九月十五日現在において、年令満八十八才以上の者となつてゐる支給は毎年九月十五日と五〇〇円宛、計三、〇〇〇円が支給される。尚これは本年度から実施されるものであるが、これに該当する老人は村内で約四千人と見られてゐる。

毎年三千円を支給

この年金の受給資格は村内に一年以上引続き住所を有する者で毎年九月十五日現在において、年令満八十八才以上の者と、年令以下の支給は毎年九月十五日と三月十五日に、それと一五、〇〇〇円宛、計三、〇〇〇円が支給される。尚これは本年度から実施されるものであるが、これに該当する老人は村内で約四十人と見られている。

投票は東豊永地区のみ

その他の地區は無投票當選

大豊村農業委員会委員の任期満了に伴う一般選挙の投票は三月二十五日午前七時より行われた。

条例の規定によつて村内に三選挙区制とし三月十八日立候補の受付を開始した。

選挙する委員の定数、十五名に對し立候補者は十九名となつてゐたが、投票前日の三月二十四日、投票が立候補辞退届を提出した。

為投票は第一選挙区（東豊永地区）のみに於いて行われ第二選挙区（西豊永地区）第三選挙区（大杉、天坪地区）は無投票による當選が決定した。

第一選挙区の開票は翌二十六日東豊永支所に於いて行われ新委員の顔ぶれが決定した。

選挙区別當選者

三十四年度当初予算決定

総額一億三千五百八十九万九千五百五十三円
昭和三十四年度当初予算
額は一三五、八九九、五五
三円となり、前年度に比較
すると実に七一、一八、
〇四六円の増加で甚大な額
にふくれ上つた。
これは国有林払下げ関係
である。

利金五九、〇五〇、〇〇〇
円を含んでいるので、実質
的には前年度当初予算より
二一、〇六八、〇四六円の
増加となるわけである。
その欺詐内容は別表の通り
である。

135,	1	1	6
------	---	---	---

内容

設置
施生濟
査
出

昭和34年度大豊村才入才出当初予算款別内容					
款	歳入	135,899,553円	款	歳出	135,899,553円
1 2 3 4	村地方交付税 地公営企業及財産稅 分担金及負担收入 金	37,404,100 22,299,000 63,037,617 200	1 2 3 4	議役會場 消土木 士防	費1,755,560 費19,805,180 費1,821,200 費5,135,100
5 6 7 8	夫役授及現品 使用庫支料出手金 県庫支出金	200 2,456,050 3,587,100 1,570,800	5 6 7 8	教社會育 保健勞 產衛經 生施設 濟	費18,405,352 費5,025,820 費1,096,500 費4,639,930
9 10 11 12 13	寄附金 繰入金 繰入金 雑收 雑入	601,000 100 1,500,000 1,943,386 1,500,000	9 10 11 12 13 14	財政統 計選調 議會諸予 計舉債 支備 査出	費60,343,000 費28,000 費1,787,050 費11,724,511 費4,032,350 費300,000

大豐村公明選舉推進會

四月は選挙月と云われる程、選挙が多く行なわれます。

特に今回の選挙は県議会議員選挙（四月二十三）日投票、及び村長、村議会議員選挙（四月三十日投票）等私共身近に選挙が行われますので有権者の各位は必ず投票して尊いの権利を行使して下さい。

尚選挙が間近くなりま
す、いろいろの流言や
選挙目当ての記事、うわ
さなどが飛ぶと思われま
すので、これらにまどわ
されることなく冷静に判
断して、ほんとうに自分
達の代表者として県政を
行政を委すのできる
立派な人を選ぶように致
しましょう。

●出たい人より出したい
人
●言行一致の人を
●ふだんからよく人の世
話をできる人
●公僕としての自覚ある
人

支所縮小は見送り

役場
先に本紙へ発表した役場事務機構改善案は、その後議会の議決を経たので、原

尚、役場の人事異動は新村長就任後になるが、今回は相当大巾に行なわれるようである。

大豐村町長 三谷 泉 水

点 永森 俊夫 30

第二選挙区

選 三谷	正巳 58	西脇谷
長瀬	巖島 49	大砂子
寛 義保	54	奥大木
吉川 延衛 32	奥大木	
三谷 隆郷 42	佐賀山	
選 笹岡 且樹	東寺内	

第三選挙区

選 秋山	重実 58	穴内
小川 利盛 56	川口	
選 秋山	川口	

木村は町村合併促進法に
より、昭和三十年三月三十
日に旧四力村が閉村し、翌
三十一日大豊村として人口
二万三千五百四十三人、面
積三百五十七平方町、村
に国鉄鉄七つを有する全国
に有数の大村として発足を見
たのであります。

四周年記念日に當つて当
時を回顧し、今日を思い実
に感慨無量なものがあいま
す。

●新村の組織機構の確立●

れておるので直ちに旧大杉の調整と、幾多の懸案事件
村役場庁舎を新村の庁舎と
定め、村長職務執行者に旧
大杉村長が当り、他の旧三
村長は村附託として新村建
設に参画、職務執行者を補
佐し、他の旧村役場を支所
として旧村の第一助役を支
所長に任命、暫定的人事な
まら一応新村の陣容を整え
ました。

各指指導機関、村議会及二
万村民の温い御指導と御支
援により極めて順調に村を
挙げて新村建設に邁進する
ことができました。

▼東西豊永地区新農村の 指定を受ける▲

昭和三十三年に入つて、
第二地域域即ち東西豊永地区
が新農村の本指定を受けて
事業の実施に入り、第一地
域の大杉、天坪地区が予備
指定を受け、着々準備中。

各指指導機関、村議会及二
万村民の温い御指導と御支
援により極めて順調に村を
挙げて新村建設に邁進する
ことができました。

田辺 穂男 立川上名
松岡嘉幸 北川二区
西岡 広重 54 角茂谷
盛寿 枯 谷
酒井 多助 大王上
佐藤多磨呂 馬 瀬
内田長五郎 立川三谷

す。
▼新村建設▲
合併協議書並に新村建設設計
圖書に依りその方向が示さ
れ、案通り着手されることにな
つた。
即ち戸籍、住民登録、配
置

▼新村の新築移転の成立▲
同年四月三十日初代村長
選挙が行はれ不肖私が当選
就任し、次いで五月五日村
議会議員の選挙が行はれて
二十八名が選出され五月十
三日、組織議会が開かれ五月
議長に野島豊氏が、副議長
に釣井朋水氏が選任されま
す。

仰くことが出来るようにな
つたのであります。
▼地財法の適用を受く▲
昭和三十一年度に入り地
方財政再建促進特別措置法
の適用を受け財政再建債に
より旧村の負債二千七百万
円の肩替り償還を行うと共に
持分を譲り受けるものとな
して農村振興に画期的な躍進
を期するに至りました。

又新村発足以来多年の要
望であつた国有林処分も事
内に終了し、且つ基本財産造成
に於て基本財産造成年
のため永久に多大の貢献を
なすことになりました。

豊永 尚文 大久保
三谷 盛清 川井
森山 茂貴 高須
大利 雪村 西寺内
岡林 大幹 馬瀬
山中 登 西川

事務機構改善

給、消防、外国人登録、印鑑その他諸証明等を総務課内の住民係に置き、更に課西係も設けて、住民に対する窓口事務の一体化を図ろうとするものである。

支所の機構改善については、時期尚早との声が高いので現状維持の形となつた。

行政組織の確立を見新村の活動は本格的に始つた。

に財政再建計画を策定して恒久的な町村財政の確立を期する為財政再建団体として国の指定を受けて収入の増加を図る一方行政機構の合理化効率化を行いつつ現在に至つたのでありますが、何分最低の奉仕行政費に對する一般財源の負担が、

▼その他▲
本村の瘡とも云うべき地
に災害についてはこれが対
策に多年懸命の努力を致し
ましたが幸にして昭和三十
三年四月一日地震で国庫
の指定を見、本年度は国庫
の制度的な実地調査を経て
防止地域の指定を受け今後

は五月から

支所縮小は見送り

先に本紙へ発表した役場事務機構改善案は、その後議会の議決を経たので、原

機の配置等は、人事異動の關係で新村長決定後に持越される。

尚、役場の人事異動は、新村長就任後になるが、今回は相当大巾に行なわれるようである。

本村は広汎な面積と多数の人口を有し、しかも旧村の地域はそれと風習、經濟等必ずしも軌を一にしないので眞に名実の伴つた大豊村を築くには第一に「和」を以て村造の基調とせね

て、その間に各々の抱いた新村に於ては正に「いばらの路」でありましたが、各方面の深い御理解により並々ならぬ御支援を頂き財政再建計画の執行状況も漸く軌道に乗り昭和三十一年度以來赤字を解消して尚且つ若干の繰越金を生ずることが出

強力に防止対策が講ぜらるゝこととなりました。其他新村建設は各段に互りは順調な歩みをつづけ来日を以て第四年度を終ることにりました。

新村建設後四年を経て今や、融合一休の美しい姿となり、將來への発展の基盤とな

みんなに進めよう

公明選挙

大豊村公明選挙推進会

四月は選挙月と云われ、さなどが飛ぶと思われま
る程、選挙が多く行なわ
すので、これらにまどわ

ばなりません、その為には
二万余の村民が速かに旧村
意識から脱脚して和衷協力
融合一体の美しい姿を実現
せねばならないのでありま
す。次に旧村を引繼いだ新
村は甚だ苦しい財政である
ので経済の立直しをなし健
全財政を確立することが急

来だしたのであります。

▼議会へ

この間野島議長が一身上
の都合で辞任され第二代議
長に釣井朋水氏、副議長に
小笠原清浩氏の就任を見ま
した、九月一日天坪南部五
部落が境界変更により本村
に合併され、より本村

漸く定まるに至つたことば
まことに慶祝に堪えませと
の偏に村議会並に各種行政
機関の各位が大局の見地に
立てて旧村意識より脱脚
し和衷協力村造のため四年
間絶ゆるまい御尽力下さ
り賜ひ、二万村民方の力強

特に今回の選挙は県議
会議員選挙（四月二十三
日投票）及び村長、村議
会議員選挙（四月三十日
投票）等私共身近に選
挙が行われますので有権
者の各位は必ず投票して
権利を行使して下さい
◎言行一致の人を
務めたい
断して、ほんとうに自分
達の代表者として県政を
村政を委すことのできる
立派な人を選ぶように致
しましょう。
◎出たい人より出したい
人
務であると思惑されました
しかし二万余の村民が打
つて一九となることも健全
財政を確立することも仲々
の至難の業でありますが
あらゆる障碍を排除し困難
を克服してこれを乗り越え
ねばならぬと議会も執行部
から分離して土佐山田町へ
編入され、これに伴う議員
の補充選挙が同月二十五日
に行はれました。
分村のことは誠に遺憾至
極ではありましたが、換言
すれば面目を一新した融和
協調のわが村の眞の発足と
も云うべきであり、之を契
機に私共の不肖の身を以て初任
村長の重職を汚しましたと
四年間公私とも絶大な羞恥
同情の間に御懇切な御指導
と御鞭撻を賜り大過を犯し
ながらも御許しを得て今更
に奮起せん

い。
尚選挙が間近くなりま
すと、いろ／＼の流言や
選挙目当ての記事、うわ
人。
ふだんからよく人の世
話がでける人。
公僕としての自覚ある
人。
も強い覚悟を定めました。
この間新村の事務は旧四
力村よりの引継事務と新村
としての建設事務で、旧村
間に於て事情を異にする面
機として「和」の結合に
拍車をかけたのでありまし
た。
昭和三十二年五月任期満
了により議長に小笠原清浩
に及びました、四月二十
限り退職致しますがこのご
恩は私の終生忘れ得ぬ感
でありまして心より御礼
上げます。

「ドー」にとりつき、まさに出発せんとしているBさんに大音でどなりたした。した場所は必ず責任をもつ

けん銃は殺人強盗などの、これと同じ通知が県警管

た天下の道路でも汚

けん銃に用いる危険なものを通じでありましたので、

思出すことでしよう。

い。

注意しなくては

冤罪に用いる危険なものを通じでありましたので、

でありますから、たとえ形

喜ひにわく立川地区
待望の団体電話（加六十入）**開通**

隣組の電話常会もできる

一杉局六七番、六八番

電々公社のでかねてより
工事が急がれては立川
団体電話は工費約四百五十
万円を費して、この程完成
去る三月十五日立川校に於
て高知電氣通信部長他、関
係者多数が出席して盛大な
の開通式を挙行了した。

立川地区は面積広大であ
り学校、役場出張所、農協
などの公共機関があり乍ら
も、電話は立川郵便局より
かなく不便を極めていたに
に、その喜びはまた一し
おのものがある。

加入数は六十四、交換室
は役場出張所に置き、常時
名の交換嬢がその仕事に

当っている。加入者は次の
通りであるが、かける場合
は、(事務局六十七番か団
六十八番)を呼び交換嬢が
出たのち目的の家を告げて
接続してもらえばよい。

秋山英雄、長野香信、井
上一茂、立川森林組合、窪
田福明、鎌倉喜久繁、鎌倉清
繁、鎌倉喜久繁、桑名伊勢
吾、荒川一、朝比豊晴、
秋波保輝、島田利重、黒岩
定六、川井熊吾、吉川重幸
吉川飛寿、吉川幸晴、永
野幸雄、内田恒美、内田長
五郎、清水産業K.K、前野
信子、村役小中学校、河野
高貞、村役場出張所

勇子、杉本繁太郎、吉川崇
晴、立川農協、小笠原國
晴、高重、秋波隆嗣、小笠
原武利、小松頼重、山内啓
次、奥有林、川井末広、小
笠原泰恵、吉川宗正、村正
伸、永野道寿、吉岡つと
む、石川義男、鈴木友茂、村
上正茂、西岡隆五郎、小笠
原智、横内正雄、小笠原
久盛、石川靖嗣、小笠原音
市、小笠原政市、宮川重成
市、山弥五郎、杉本正吾、
永野武男、永野高晴、永野
定、西岡春美、小笠原要
永野茂友、仁尾ヶ内分校
内田岩見。

特産物の育成強化など

重点目標策定

大豊農業改良協議会

大體農業改善及所の協力団体である農業改良協議会は去る三月二十四日改良普及所で委員全員が出席し開催され、事業計画書並に予算が決定されたが特に本年度に於いては「普及事業十年の歩みを省りみて」の上たちに、更に最近の山村農業不振等の諸状況の中で重点推進事項として次の五つを掲げ、県、村及び関係団体との連携を密にしつゝ実現するよう決定された重点推進事項、

① 零細農家の主食安定技術の普及（水陸稲早中期栽培米麦の施肥改善と共同防除等）

② 特産物の育成強化（既存特産物の質改良、蔬菜、果樹、畜産等の導入改良等により、農家の収入を確保する）

③ 生産と生活の結びつきによる農民生活の改善（自給蛋白、脂肪ビタミンの計画的生産と合理的調理方の普及等）

④ 青少年グループの育成（4H方式のみでなく広く次代の農村青年の育成に勉める）

⑤ 農業経営の綜合改善（従来の部分的改良から農家又は一部落の徹底的な経営分析を実施し欠点、長所を数的に摘出し、科学的な長期計画で綜合的に改善する）

尚当日は農委会の改選に伴い退任された各委員に記念品が贈呈された。

改修するため、県外へ百名程度の優秀グループ員を派遣し先進地の村のしくみや技術を研修する。

県、村の研究グループに対する物心両面の指導育成対策を強化するよう推進運動を起す等、本年度の活動方針が決定され、これに基づき事業予算総額六十五万円余を決定した。

又新に畜産部長、松村佳景（尾生）農研部長、八重子（上桃原）青少年部長、長近藤清一（八川）の各部長を選任し、専門部活動の強化を図るよう決定された引続き午後一時から研究実績発表会に移り、参会者約百名で会場は超満員のな

【農研連総会】百名の県外

事業計画を樹立

大豊村農研連総会は去る三月十七日午前十時より、大豊農業改良普及所に於いて開催された。

村内四十五研究グループの代表者によつて、本年度の事業計画が樹てられ、重点研究課題を各グループ毎に二・三課題を設け、この研究を通じ地域農業の近代化を図ることを目的とする。

グループによる水稻増収技術の研究

小川農研 西山登喜美
肥育豚を入れた経営改善
立野農研 山中梅香

多い高血圧症

久寿軒で巡回健康相談所

⑦血沈（赤血球沈行速度）
となつており、校下民三五
検査
検査の結果は成人病と云
われける高血圧が圧倒的に多
く全体六割を占め次いで
寄生虫卵が非常に多いよう
であるので徹底的な駆除を
必要とすることが判つた。
必要な二日間を終了した。

第四回
大豊村赤七
最優良に
小笠原

…大豊村赤ちゃんコンクール…

毎回二千個以上の

卵を出荷

大杉養鷄組合

昨年十月一日から発足した大杉義雄組合（組合長 美濃津由氏、組合員四〇名）は、その後順調な歩みを続けています。

卵は大杉農協に依托販売の形で五日毎に出荷している人が多い人は一回に一五〇、少ない人は五〇位で、全体としては約一三〇〇（約二、二〇〇個）の量が出ている。

四月一日現在の相場では一〇当（四〇円）しているのが五日目毎に一八、二〇〇円位が生産されている。

合理的な経営方法によって生産向上を図り農家の現金収入の一助にしようとする組合員達は、力にきつてゐる現在、鶏は増加しつつあるので今年中には二、〇〇〇羽を突破するだろうとみられてゐる。

大田口農協に

農事放送施設完成

新農村特別助成事業の一環である農事施設は村内で最初に大田口農協管内に設置する事となり、去る一月十日に工事着手、一、四八七、五〇〇円の工費を要して三月末に完成、現在ブルに活用が行なわれている。

東寺内二ヶ所の十九家庭にあるが、七ヶ所には一〇〇坪の設置スペースに上るまた屋外スビーカーにも東、黒石、東西厩舎、東西寺内の七ヶ所に据えられ、屋外で仕事をしている者にもし放逐が出来るようになってゐる。

人事異動

一があるのを親元から加入者への一斉放送などが出来るので、その利用範囲は極めて広い。	交換機、放送機は大田口農協に備へ、受信機は上四ヶ所、東鹿谷四ヶ所、西鹿谷七ヶ所、西寺内二ヶ所	川口駐在巡査 大田口 川口 高橋 中川	友成 隆雄 山口富士雄 陣雄 健一	本山警察署管内では四月一日付人事異動を發令したが村内関係分は次の通り。 氏名は新任の分のみ。
---	--	---------------------------------	----------------------------	---

学校關係

本年度、学校教職員異動の本村関係では七十三名の先生方の交流が行なわれ、左は、校長関係のみ

- ◇西峯中学校
- 三谷啓保（東豊永中）
- 竹村広美（黒滝中から）
- ◇西峯小学校
- 美崎登志治（中切小へ）
- 宮本 実（瀬戸中から）

家政高女

大田芳於（
片岡不自子（嶺石から）
傍士定男（北幡から）
浜田 淳（岬陽から）

團長に小笠原四郎君

大豊村連合青年団では、中央公民館と共催で、去る四月十日、大豊村役場に於て約七十名が集つて村青年大会を開催した。

午前中は、総会にし、小笠原長猪副團長及び岡崎鶴総務部長から三十三年度事業経過報告が行われこれに対する賀祝があつたのち、役員改選に移つた。

当初、選挙という声もあったが、あまり互に顔を知り合つていないので、大杉天坪、西豊永、東豊永の四地区から二名宛、代表者が出て、團長、副團長及び会に推薦して決定することになり、その結果に小笠原四郎氏（東永）に小笠原四郎氏（東永）副團長に渡辺充康氏（永）が決定した。

昼食後は、県社会福祉部の桂井和雄先生、佐田の桂井和雄先生、時の若菜組と民話の講演を聞き、二時半「皇太子御成婚儀式」レビを聴得した後、選挙について討議つて午後五時閉会し

三百余名の参加者を集め

三ヶ年の研究成果を発表

船戸部落衛生組合、環境衛生研究発表大会



写真発表会場

で環境衛生研究発表大会を開催した。

会場にあてられた大田口農協畜舎で組合員の考案による諸施設改善の写真展示と電気器具(電気掃除器等)の外各種薬品の陳列等が行われ参加者の注目をあつめた。

県公衆衛生課長外係官数名、県社会福祉協議会事務局長、本山保健所長以下六名、高知市中央保健所、室戸保健所外各保健所職員、香美郡野市町衛生自治会委員、本山町、土佐村、大川村、本々村等より三百余人々が押しかけ(貸切バス三台)山峽の部落は俄かに活気づいた。

参加者は数組に編成され地元係員の案内で部落内の見学を行った後、会場に集合、十一時開会、村長、保健所長挨拶の後、表彰式にうつり、衛生組合と個人として功勞のあつた初代組組長長堤昭利、前部落長吉田

表が婦人会吉田トクエさんによつて行われた。

「研究成果と今後の計画について」と題した発表は人の利による学習活動が実践運動へと発展し諸施設の改善によつて薬用量を少なうし更に、人間の精神的向上への契機にふれ参加者に深い感銘を与えた。

引き続き県視聴覚ライブライン撮影、高知県新生活連環協議会協賛の天然色ハミリ映画「船戸部落の記録」が上映され、野市町衛生自治会々々長田村孝喜さんの野市町の衛生自治会の活動状況が発表され、保健所長の話の後、全体討議に入り、約一時間半にわたる活潑な質疑が行われ、最後に県公衆衛生課大原課長より、この運動の重要性和船戸の特殊性を活かした活動に対する部落民の努力を賞讃した。講評兼挨拶があり午後五時十五分盛会のうちに終了した。

役場吏員
採用試験

五十七名中
五名が合格

三月五日に行なわれた大規模入場試験には、最優秀者として十七名が受験、筆記試験の結果、同日二十二名の試験に合格者が決定された。次合格者が決定された。次いで三月九日、第二次試験（身体検査、作文、面試）を行い、四月一日試験委員会を開いて合格者五名名を決定発表した。

就職を反映してか、御世間にもれず十一・四人に人の狭き門となつたが、受験者の成績は全般的にみても、あまりよくなかつたものであつた。

合格者次の通り。

山村健一（高須）、大立義雄（和歌山）、森下盛雄（和歌山）、西國香代子（本村）村政子（連火）。

たずねて

彩と整備が全然異なる。方は三月たかから人形、片一方は野球バット、グローブを飾つてある、我々が行つた時丁度居合はせた女子がにこにこと愛嬌良く挨拶するのを見るのと全然異じけた暗い影がなくて湿くましく感ぜさせられた。治療を担当する医師、看護婦も強い愛情と忍耐心とに依り此等の子供達に幸福をもたらす事が出来る。子供達連一日も早く健康になれる日を心からお祈り申します。子

漏電の

大砂子

お宅は漏電に得やかされてはいませんか？

多くの人々は電気による火事といえはすぐショートを通想し、電線やソケットから火花がでていさえしなれば安心してゐる。

ところが本当に厄介なのは回路のショートではなく過負荷によるものが多いた

大砂子 中西章男

お宅は漏電に脅やかされてはいませんか？
多くの人々は電気による火事といえばすぐショートを連想し、電線やソケットから火花がとんでいさえしなれば安心してしまいます。ところが本当に厄介なのは回路のショートではなく過負荷によるものが多いのである、その根本の問題は次の通りである。

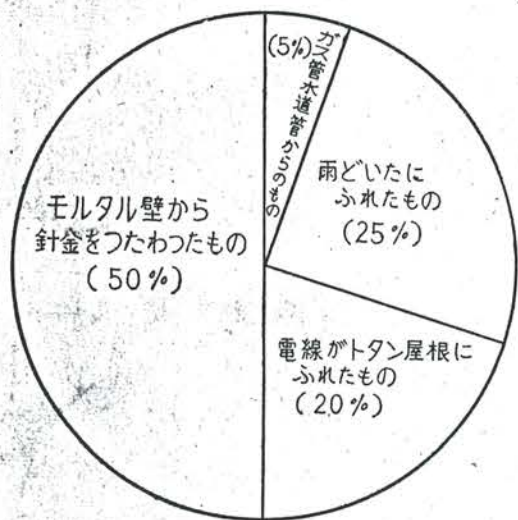
家庭の電力消費量は最近の電力ブームで非常に増えていきますが大部分の家

水栓にみないべんに水を供給出来ないからです。これが「負荷をかけ過ぎた」ということです。

悪い線には過負荷になつた電線は水道管の場合と違つて熱くなるのです。

過負荷が激しければ激しい程電線は熱を増し(過熱)火災の危険にさらされます。回路にとり付けてあるヒューズや自動遮断器は過熱による火災の危険をなくするためのものです。

皆さんのお家は電気によ



① 十五アンペア（一・五キロワット）になっている
② それ以上使わぬこと
③ ヒューズが切れやすいこと
④ いって針金や銅線を使わないこと
⑤ 一本の電灯線（コード）からいろいろの電気をとらないように（例えばアイロン、ラジオ電熱器など）すること

尚電気器具は㊦のマークのあるものは間違ひありません。

久寿軒社会学級運営委員長 西岡一生

☆見☆発☆の☆間☆人☆

西岡 一生
久寿軒社会学級運営委員長

古い話だがアメリカ教育使節団が日本にやつて来た時その調査報告の中で「教壇の教師の教育を見出し教育する必要な説き「社会教育」の章でも指導者の不足を嘆いてゐる。現在は一人教育界に限らずあらゆる所で「人のいいことを嘆く声が多い。時代の進進に処信頼するに足りる人が多くなり重んじられ重視されてゐる人達に古いしきりが凝り固まつてゐるし更その人達が出て来てもするこはなさそうだがにも拘らず五十何回!!乃は六十回の問松より云はせ、恐らく現代の感に目ざめた若いチエネン(世代)からは憫

られる現象の一ツ二ツを覗いてみよう。

「明日の事を思い煩うな一日の苦勞は一日にて足れり」とのイエスの言葉を文子通り実践してゆくドライ型である。あすのことを想はぬ……これは最も悟つた人間か亦是刹那の快樂に生きる事の出来る人間かのもちからである。

前者の場合があまり考えられない実情から警戒を必要とする後者の例が意外に強烈なものであり「おめでた部長」とも云える輕佻浮薄な困つた流行思想の一つである。

次に近頃流行る思想に個人と云ふものは無力だ!!

だから團結して戦ふと云ふ考え方を持て曾て小学生在京中或る大学でバリーグを作つてゐる学生に「教師が「君は誰だ名を云え」と言つたら「名はない」と答えたという話を聞いて感心した例がある。成程今日右翼学生とか何々組合とか云われる者の中なんぞでは組織の中の第何号で在つても個人としての固有な名詞はないのかも知れない小数の過激な思想を有する人々に動かされて大勢が盲進する!!困つた事なのである。問題は少数に動かされる!!と云ふことだ。

成程!!と云ふ者は狂信的に何かを信じてゐるから強いに相違ない。動かす方も悪いが動かされる方も同様良しくはない。恥とすべきでない。個性の独立を守つてたゞなければいけないのだ

つくるには

事は悪人の評判の立つてゐる人間の場合と同様である。「徒然草」に「言はしと見ゆる者も良き一言は云うものなり」とある。亦道のほとりのあだ言の中に一念の猜心を樂しんだのは鴨長明であるが切実に道を求め人間を愛する心があつても「心なし」と見ゆる者からよき一言を聞くことが出来るのである。

かつて天野文相は「裏表のある一部の道学者よりも政党政治家は人間は上等だ」と語つていたのである。政党内に始めて接した氏のいかにも氏らしい人間の發見である。その当否は別と見て我々も徒らに「人」のないことのみを嘆くより、本気で「人間の發見」に勉めなければならない。

経過年数	元金に対する 利息の割合
2 年	1割2分6厘
3 年	1. 9 4
4 年	2. 6 7
5 年	3. 4 4
10 年	8. 0 6
20 年	22. 6 2
30 年	48. 9 2

となつております。

例えば、百万円の御金をつくらうとすれば

毎月の掛金
000円で29年9月、1,001,496円
(利息は644,496円となる)
000円で16年2月、1,000,778円
(利息は418,778円)
000円で11年5月、1,004,139円
(利息は319,139円)
の如くなる。

▼税金がかゝらず六ヶ月以後はいつでも払もどし
▼税金がかりに自由に出し入れのできる普通貯
金も年三分九厘六毛で普通預金の利子としては
先づ最高の利子である。

郵便貯金は現在八千億圓近い大きな金額になつて
おり、大蔵省の資金運用部を通じて大半の御金は
都道府県や市町村に貸出されて学校、病院、道路
橋、水道、災害復旧等或は住宅金融公庫、日本住
宅公団、農林業金融公庫等を通じて住宅不足の解
消、生活資金や中小企業の実業資金、農作業の機
械化の爲などに融資され或は電力石灰、鉄鋼、海
運などにも融資され日本の財政経済の發展と國民
生活の改善向上に大きな力をしております。

かように郵便貯金の預金者は自己の家庭経済の
充実を図り乍ら国家社会の爲に貢献しつつある事
を認識し郵便預入に格別の御協力を願います。